

## 修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 情報システム学研究科 情報システム運用学専攻 博士前期課程		
氏 名	多田 義政	学籍番号	0652027
論 文 題 目	半透明ディスプレイを用いた情報共有システム		
<p>要 旨</p> <p>近年, ショーウィンドウや店舗において半透明ディスプレイを用いた電子広告をよく見かける. しかし, 半透明ディスプレイを用いたものはインテリアとしての要素を主な目的とし, 動画を一方的に提示するだけで人と対話するような物は殆ど見受けられない. これでは電子広告としての利点を生かしきれていないだけでなく, 実物体と情報を同時に見る事ができるという半透明ディスプレイの利点を生かせていない.</p> <p>そこで本研究では, HMD(Head Mounted Display)などの特別な装置やマーカーを体に身につける事無く体や手の位置を認識した. そこで得られるユーザ位置に合わせて商品に情報をオーバーレイ表示するだけでなく, 他ユーザとの情報共有もできるインタラクティブなショーウィンドウシステムを構築した.</p> <p>これにより, ユーザが半透明ディスプレイで見ている商品の前に情報が表示され, 常に商品と情報を同時に見る事ができるようにした. また, ユーザが壁型ディスプレイに接触するほど近づく必要が無く, 直感的なジェスチャでディスプレイに表示されている情報を操作できるシステムを構築した. これはユーザがある程度ディスプレイから離れていたら全体的な情報を提示し, ユーザがディスプレイの近くにいたら詳細情報の表示など, ユーザとディスプレイとの距離に応じた提示情報を変更するシステムを実装した.</p> <p>次に, 応用例として視線共有を行う事ができるアプリケーションを実装した.</p> <p>これは, ショーウィンドウなどの奥行きがある場所において, 複数人でいる場合視差の問題が生じる. そこで, 人が他人と情報を共有するときに用いる指差しというジェスチャを行う事により, ユーザ間で自然な情報共有ができる.</p> <p>また, 実際に本システムを公共環境に設置して, 前を通り過ぎる人の動向を調査した.</p>			